

## 教育心理学

[講義] 第1学年 後期 選択 教職必修 2単位

《担当者名》田辺 毅彦 ( 非 ) tanabe@hokusei.ac.jp

### 【概要】

教育のための知識の土台を形成する。教育心理学は、教育という事象のさまざまな側面について、心理学の視点や方法で研究するものである。授業の内容は、学力、教育方法、学習への動機づけなど、教授・学習に直接関わる問題、学習の問題、教師・生徒関係や生徒同士の関係など学級集団の問題、そして、学校での不適応児童や軽度発達障害、不登校など発達や臨床に関する問題である。これらの内容について、心理学によって明らかにされてきたさまざまな知見を学修し、教育・学習場面で生じる種々の事象をどのように考えたらよいのかを学ぶ。

### 【学修目標】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習過程に関する基礎的な心理学的知識を修得し、教育現場での学習活動・授業作りのための思考方法や技術を身に付ける。また発達障害児や不適応生徒への理解を深め、その対応についての知識を身に付ける。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	心理学の中の教育心理学、発達の概念、発達理解の意義	田辺
2	発達観と学力観	子どもの認知の発達と理解	田辺
3	学習の転移と知能検査	学習の転移と知能検査	田辺
4	学習と動機づけ	学習携帯・概念とその過程	田辺
5	学習の認知プロセス	記憶システムから考える	田辺
6	学習の多様性と個人差	幼児児童生徒の心身の発達と主体的な学習	田辺
7	個別化の教育(1)	性格の形成と性格検査、学習活動	田辺
8	個性化の教育(2)	社会性と社会的スキル、集団づくり	田辺
9	教授学習過程と技術	ディスカッション技法、学習の形態や概念	田辺
10	学級の理解と指導	クラスと軽度発達障害児	田辺
11	発達障害児の可能性 - 君が僕の息子について教えてくれたこと	運動・言語・認知・社会性の発達の理解	田辺
12	不適応児童・生徒の理解 - 子ども電話相談の事例から	運動・言語・認知・社会性の発達の理解	田辺
13	学習評価の考え方と実際	発達の特徴と評価	田辺
14	不適応児童・生徒の理解と指導(1)	不登校・発達障害・BPD	田辺
15	不適応児童・生徒の理解と指導(2)	ASDと治療の実際	田辺

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

### 【アクティブ・ラーニング】

導入している

### 【評価方法】

レポートの提出とテスト(含む小テスト)の成績で判定する。レポート(20%)、テスト(80%)

### 【教科書】

指定しない。資料等を配布する。

### 【参考書】

「人を助ける心理学入門」(田辺毅彦)培風館

「教育心理学の新しいかたち」(鹿毛雅治)誠信書房

「生徒指導提要(改訂版)」(令和4年12月 文部科学省)

**【学修の準備】**

講義では教育に関わる事項について、発達心理学、認知心理学および臨床心理学の視点から概観する。広く浅い講義内容をもとに、受講者が各自で参考書などで理解をさらに深めて欲しい。

・事前に、授業内容の概要を示したパワーポイントをメールに添付して送付するので、その内容に基づいて、自分なりの問題点を挙げておく。(予習2時間)

・授業後、授業内容や授業で視聴してもらった動画内容に関して感じたことや考えたことをまとめる。(復習2時間)

**【免許法施行規則に定める科目区分等】**

「教育の基礎的理解に関する科目」の「幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」に該当する。

**【実務経験】**

- ・北星学園大学 アクセシビリティ支援室スタッフ
- ・NPO法人 チャイルドラインほっかいどう

**【実務経験を活かした教育内容】**

・「アクセシビリティ支援室」では、主に、発達障害学生の日常生活や授業取り組みに関する支援を行い、「チャイルドラインほっかいどう」では、子どもたちの日常生活における困難事例についての聴取や助言に関わっている。その実務経験を活かし、実践的教育を行う。